



日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進んでおります。団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、ますます医療や介護の需要が増加することが見込まれています。

土岐市においても、高齢者をはじめ地域の方々が、疾病を抱えても自宅等の住み慣れた町で、自分らしい生活を最期まで続けられるよう「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される『地域包括ケアシステム』の構築を進めております。地域の医療・介護関係者の連携強化を図るとともに、関係機関のみならず地域の方への医療・介護情報の「見える化」を促進し、安心して暮らせる町づくりのために、広く活用していただきたいと願っております。

土岐市在宅医療・介護連携推進会議  
土岐市高齢介護課

